

フレンドリーあんず【日本語教室】会員の心構え

【フレンドリーあんず】は【「茨城アジア教育基金」を支える会】の会員で、平和な国際社会を目指して世界諸国の人々と交流し、互いに理解を深め、共に生きる喜びを分かち合うことを目的として活動しているボランティアグループです。外国人の方々に日本語習得の支援をするグループです。外国人の人々と出会えて新しい自分も発見出来ます。この活動を通じて自分もより豊かになりましょう。

1. 全般

- ① すべての人に、平等と尊敬の気持ちを持って接します。
- ② 日本の価値観を一方的に押し付けず、異文化を学び理解する柔軟な心を持ちます。

2. 指導目標

- ① 一方的な押し付けや漠然とした指導は避け、学習者の希望にそった日本語指導を心掛けます。そのため学習者に何を習得してもらうかという指導目標を持ちます。

3. 授業

解りやすく楽しい授業ができるように心掛けます。クラスを担当するためには、少なくとも基本的な「日本語の仕組み」を理解し、「教え方」を身につけておく必要があります。そのため「初級日本語ボランティア養成講座」を終了するか、それに相当する能力が必要です。

- ① 教案作成や教材の用意など、授業準備を周到に行います。
- ② 練習問題などで習得状況の確認を行い、次の授業での教え方に生かします。
- ③ 講習会、相互研修会には進んで参加し、自己の授業力の向上に努めます。

4. 運営

- ① 教室(分室含む)ごと(火曜、金曜、水木)にまとめ責任者のグループリーダーをおきます。
- ② クラス編成(教師と学習者の組み合わせ)はグループリーダーが決定し調整します。(クラス編成について要望がある場合はグループリーダーに申し出て下さい。)
- ③ 会員と学習者は出席のつど「教室出席簿」に出席印を付けます。
- ④ 授業結果(出欠、進捗等)は毎回「授業記録表」記入しグループリーダーに提出します。
- ⑤ やむを得ず教室を欠席するときは、予めグループリーダーに連絡し欠席日の学習者への対応(他のグループに代講を頼むか、クラス休講など)を決めておきます。
- ⑥ パートナーがいる場合は、パートナーとの間で教え方や分担などについて蜜に連絡を取ります。

5. その他

- ① ボランティアグループ【フレンドリーあんず】に加入します。
- ② 火曜教室は女性センターを使用するので、火曜教室の教師は「女性センター友の会」の会員となる必要があり会費を払います。但し、あんずで一括して払います。《改定3 追加》
- ③ 日本語教育以外の国際交流・親善を目的とした会の行事には極力参加・協力します。
- ④ 生徒からの個人的な相談があった時は、個人の責任の範囲で対応します。それを越えると考えられる問題に付いては、グループリーダーに相談するか、あるいは茨城県国際交流協会の「外国人相談センター」を紹介します。

制定 2004.3.27

改定 2008.7.28

改定 2018.4.11

改定3 2019.4.14

(電子化した。但し以前の改定箇所不明)